（学校名　藤岡市立鬼石北小学校）

１　いじめ問題解決に向けた私たちの取組名

心をこめて　「ありがとう」
まほうの言葉で　みんな笑顔に

２　「いじめ撲滅宣言」とのかかわり

鬼石北小は、全校児童７３人の学校です。クラス替えがないので、小さい頃からお互いのことをよく知っている子がほとんどです。『笑顔いっぱい、やる気いっぱい、読み書き・表現いっぱい』を全校の合い言葉にして、様々な取り組みを行っています。各教室に、合い言葉を掲示し、常に意識できるようにしています。１１月に行うなかよし月間・人権集中学習期間では、スタートの日に全校朝礼を開き、まず児童会本部委員がいじめ撲滅に向けての思いを全校に伝えてから、子どもたち全員で『いじめ撲滅宣言』を行いました。さらに、今年度は校内でいじめを防ぐ意識を高めるために、児童会が中心となりスローガン『心をこめて　「ありがとう」　まほうの言葉で　みんな笑顔に』を考え、取り組んできました。

３　各校共通の取組

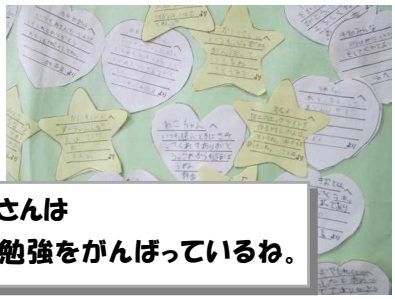
（１）「スマイルハイタッチあいさつ運動」

「おはようございます！！」　ハイタッチでみんな自然に笑顔。

月に１回程度、児童会本部委員や委員会の委員長が交代で参加し、鬼石中学校の生徒と協力してあいさつ運動を行いました。ハイタッチをしながらのあいさつを続けてきたことで、元気のいいあいさつができるようになってきました。朝から笑顔いっぱいの北小です。

（２）「ＨＡＰＰＹはぁとふるツリー運動」

「友だちにしてもらってうれしかったこと」をピンクのハート型のカードに、「友だちががんばっていること」を黄色い星型のカードに書いて貼っていくことで、思いやりや努力が詰まった木をつくっていく活動です。毎月第４水曜日を『はぁとふるデー』として、年間通して活動しています。友だち同士でお互いにいいところを見つけ合い認め合い、より温かい学校・学級にしていきます。



○○さんは
自主勉強をがんばっているね。

いつもマラソンがんばっていてスゴイね！

休み時間、いっしょに遊んでくれてありがとう。

（３）「藤岡市ネットいじめ防止行動計画アクション３＋」

「相手が言われて　うれしい言葉を　つかおう！」「言う前に、心の中で　考えよう！」「大切なことは、相手の目を見て　伝えよう！」を合い言葉に「ネットいじめ防止行動目標アクション３＋」を自分たちの生活で行かせるように児童が考え、全校で確認し合いました。合い言葉は、各玄関に掲示し、いつでも気にかけ、確認できるようにしています。

４　私たちの取組

（１）縦割り班活動

①キッズタイム

縦割り班は、運動会の３つの団（赤城・榛名・妙義）をさらに２つに分けた６つの班で、１年生から６年生を混ぜた１２～１３人で編成されています。キッズタイムは月に１回程度、朝の時間に実施します。６年生を中心に遊びを考えて校庭で元気よく遊んでいます。主にドッジボールや色鬼、けいどろなどを行っています。班のみんなのことを考えて、みんなが楽しめるようにルールも工夫しています。また、雨の日には事前に計画しておいた室内遊びを行っています。高学年は低学年を思いやる気持ちをもち、低学年は「こんなお兄さん（お姉さん）になりたいな」と高学年にあこがれをもっています。そして２月からは５年生が引き継ぎ、企画をします。

②なかよし清掃

学期末に縦割り班で『なかよし清掃』を行います。全校の人数が少ないので、普段そうじができない場所を念入りにそうじします。慣れない場所でも、５・６年生が丁寧に教えてくれたり手本を見せてくれたりするので、低学年の子も安心してそうじができます。

（２）なかよし月間・人権集中学習期間

①人権朝礼（１１／５）

なかよし月間では校長先生から人権講話を聞きました。また、児童会より劇を通して全校に「いじめは絶対にしてはいけないこと」を啓発しました。

②なかよし集会（１１／１２）

なかよし集会では、全校でゲームとメッセージカードの交換を行います。ゲーム「バースディライン」は、学年を超えて交流が図れるように児童会本部委員が企画しました。最後のメッセージカードの交換は、団ごと輪になり「虹」を歌いながらカードを回しました。みんな、だれのカードが自分の所に来るかとても楽しみにしています。

どんなカードが来るかな？
新しい友達が出来るかな？

③全校鬼ごっこ（１１／１９）

なかよし月間中の朝の時間に実施しました。体育委員が鬼になって、他の学年をつかまえに行きます。鬼はつかまえた人と交代します。高学年は１年生の様子も見ながら、安全に楽しく行えるように気を配っています。短い時間の中ですが、終了後はみんなの笑顔であふれています。

（３）上級生が手本となる活動

①マラソン・水泳

本校では、全校児童で朝マラソンをし、体力向上に努めています。また、プール開きが行われると同時に、４年生以上の全員が参加して放課後の強化練習が始まります。スイミングに通っている子はあまりいませんが、ほとんどの子が５０m以上泳ぐことができるようになりました。この北小の伝統が１～３年生にも良い刺激となっています。

②マット運動・跳び箱運動

６月にマット運動、１１月にとび箱運動の発表会を授業の一貫として行っています。発表会に向けて、３年生以上の学年は、授業の時間を充実させ、各自が練習を重ねて発表会に臨みます。高学年の発表態度や発表する技を見て、下の学年の子たちも憧れを抱き、北小の良い伝統として受け継がれています。マット運動では前転や後転などの基本的な技はもちろん、高学年になると大部分の子はハンドスプリングや側方倒立回転３／４ひねりなどができるようになります。また、とび箱運動では開脚跳びやかかえ込み跳び、台上前転に加え、水平跳びや仰向け跳び、ヘッドスプリングなどの大技を発表しています。

５　取組のまとめ

（１）取組の成果

本校には、学年を超えた活動がたくさんあります。そのような活動を通して、下級生は『一緒に遊んでくれる上級生』『困っているときに優しく声をかけてくれる上級生』等、上級生に対して憧れを抱いています。上級生も同じように先輩たちがしてくれたことを下級生へと受け継いでいきます。この伝統が北小全体の思いやりを育んでいます。また、上級生はキッズタイムや集会でゲームなどを企画・運営することでリーダーシップがとれるようになるとともに、ゲームなどで下級生のたくさんの笑顔に触れることが上級生にとっての喜び、笑顔へとつながっていきます。こうした伝統・笑顔の連鎖が『笑顔を咲かす学校』『いじめのない学校』を創り上げています。

（２）今後の課題

鬼石北小学校全体では、とても仲良く温かい雰囲気で学校生活を送れていますが、小集団が故に人間関係が馴れ合いとなり、目上の人や友達に対する言葉遣いの荒さや軽はずみな言動が見られます。自分がされて嫌なことは絶対にしない、時と場に応じた言葉遣いや行動を正しく判断できるような力を身につけていく必要があります。

いじめ問題解決に向けた年間の取組

藤岡市立鬼石北小学校

月	学校の取組	中学校区での取組
4月	・スマイルハイタッチあいさつ運動 ・HAPPYはぁとふるツリー運動（児童会より紹介） ・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査）	・小中、地域連携でスマイルハイタッチあいさつ運動 ・年度始め総会にてネットいじめ防止行動目標アクション3＋を活用しての家庭への啓発 ・年度始めに児童や家庭への生活のきまりの確認
5月	・スマイルハイタッチあいさつ運動 ・HAPPYはぁとふるツリー運動（児童会より紹介） ・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査） ・縦割り班（人間関係づくり）キッズタイム顔合わせ	・生活アンケートをもとにしたSOSの認知 ・小中、地域連携でスマイルハイタッチあいさつ運動
6月	・スマイルハイタッチあいさつ運動 ・HAPPYはぁとふるツリー運動（児童会より紹介） ・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査） ・縦割り班活動（キッズタイム）外遊び ・児童会から全校に向けてアクション3＋の啓発	・いじめ問題解決解決に向けた教育懇談会 ・小中、地域連携でスマイルハイタッチあいさつ運動
7月	・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査） ・縦割り班活動（キッズタイム）6年生による読み聞かせ	・鬼石中、鬼石小、鬼石北小の3合同で、中学校にてスマイルハイタッチあいさつ運動 ・長期休業に向けて生活のきまりの指導の徹底
8月	・保護者と担任の個別面談の実施 ・始業式にてSOSの出し方についての話	
9月	・スマイルハイタッチあいさつ運動 ・HAPPYはぁとふるツリー運動（児童会より紹介） ・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査） ・縦割り班活動（運動会結団式） ・藤岡多野いじめ防止フォーラムへの参加（藤岡中央高校）	・小中、地域連携でスマイルハイタッチあいさつ運動
10月	・スマイルハイタッチあいさつ運動 ・HAPPYはぁとふるツリー運動（児童会より紹介） ・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査） ・縦割り班活動（キッズタイム）外遊び	・鬼石中、鬼石小、鬼石北小の3合同で、中学校にてスマイルハイタッチあいさつ運動
11月	・スマイルハイタッチあいさつ運動 ・HAPPYはぁとふるツリー運動（児童会より紹介） ・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査） ・縦割り班活動（キッズタイム）外遊び ・人権月間に合わせて「いじめ撲滅宣言」を全校で行い、児童会より「ネットいじめ防止行動目標アクション3＋」の発表と生活の見直し	・小中、地域連携でスマイルハイタッチあいさつ運動
12月	・スマイルハイタッチあいさつ運動 ・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査） ・縦割り班活動（キッズタイム）外遊び	・小中、地域連携でスマイルハイタッチあいさつ運動 ・長期休業に向けて生活のきまりの指導の徹底
1月	・スマイルハイタッチあいさつ運動 ・HAPPYはぁとふるツリー運動（児童会より紹介） ・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査） ・縦割り班活動（キッズタイム）外遊び	・小中、地域連携でスマイルハイタッチあいさつ運動
2月	・スマイルハイタッチあいさつ運動 ・HAPPYはぁとふるツリー運動（児童会より紹介） ・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査） ・縦割り班活動（キッズタイム）外遊び、企画は5年生 ・子ども会議への参加と全校集会にて内容の伝達と報告	・鬼石中、鬼石小、鬼石北小の3合同で、中学校にてスマイルハイタッチあいさつ運動
3月	・スマイルハイタッチあいさつ運動 ・HAPPYはぁとふるツリー運動（児童会より紹介） ・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査）	・小中、地域連携でスマイルハイタッチあいさつ運動 ・長期休業に向けて生活のきまりの指導の徹底

いじめ問題解決に向けた各校の取組の報告

藤岡市立鬼石小学校

１　いじめ問題解決に向けた私たちの取組名

「す」「ま」「い」「る」で　みんなにこにこ　いじめ０（ゼロ）

２　「いじめ撲滅宣言」とのかかわり

「いじめ撲滅宣言」の４つの行動目標

①「私たちは、相手の目を見て心のこもったあいさつをします。」
②「私たちは、児童会生徒会活動や学校行事を通して潤いがある、温かい学級学校を自ら作ります。」
③「私たちは、学年、学校をこえて交流を盛んにし、思いやりの心を育てます。」
④「私たちは、友達の良いところを進んで認め、ほめます。」

を意識し、人権担当や生徒指導及び児童会担当らが中心になり、各学級担任と連携しながら、いじめをなくして「笑顔あふれる学校づくり」に視点を当て、取り組みを行った。

３　各校共通の取組

（１）スマイルハイタッチあいさつ運動

「スマイルハイタッチあいさつ運動」は、全クラスで毎日、朝の会の中で実施。一人一人が全員の友だちとふれあい、気持ちよく一日をスタートさせている。毎朝の正門でのあいさつ運動、月に１～２回行われる拡大あいさつ運動（小中Ｐ民あいさつ運動）の中でも取り組んでいる。お互いが手と手を合わせることで感じる人間の温かさ、優しさ。ハイタッチを通して、コミュニケーションをとることの素晴らしさ、気持ちのよさを毎日体験している初めての経験となる１年生は、慣れないうちは恥ずかしそうに戸惑う様子も見られたが、取組を重ねるうちに上級生をお手本とし、声や表情もよくなってきて、今では自ら率先して元気のよいスマイルハイタッチを行っている。

【笑顔でスマイルハイタッチ！】

（２）HAPPYはぁとふるツリー運動

２学期の人権集中学習の活動として取り組んだ。本校は「ありがとうの心を大切にしているので、ツリーのことを特に「HAPPY はぁとふるサンキューツリー」と呼んでいる。各クラスのツリーに「友だちのよいところ」や「友だちにしてもらってうれしかったこと」などを書いた花や葉っぱのカードを貼る活動で、友だちのいいところをいっぱい見つけ、たくさん花を咲かせようと呼びかけた。期間中、毎日帰りの会等でカードを書く時間を設け、各学年とも意欲的に取り組んでいた。学年の枠を越えて、「ありがとう」と渡したり、それに対する返事のカードを書いたりするなど、ほほえましい光景が数多く見られた。実施期間後、クラスのツリーを各階の廊下に掲示をすると、多くの児童がいろいろな学年の書いたカードを興味深そうに見て、他学年の友だちのよいところやよい行動を知る機会にもなった。

【はぁとふるサンキューツリー】

（３）藤岡市ネットいじめ防止行動目標アクション３＋

児童会役員が「アクション３＋」のことについて集会で、全校児童に話をした。長期休業前には、全校児童・全職員で「おぜのかみさま」を使ってネット犯罪防止の学習を行った。今年度は藤岡警察署のスクールサポーターや鬼石駐在所の所長さんにもお世話になり、小学校４～６年、全保護者を対象に、「情報モラル講習会」を開催し、たいへん有意義な時間であったという多くの感想を得た。

【情報モラル講習会】

４　私たちの取組

（１）人権集中学習スローガン「す」「ま」「い」「る」

【スローガン発表】

本校では、１学期と２学期に人権集中学習期間を設けている。今年度は、１学期「みんなが笑顔で生活するには？」、２学期「自分もまわりも気持ちよく生活するには」を重点目標として活動に取り組んだ。学習期間開始前には、児童会役員と代表委員会の話し合いで、「す」「ま」「い」「る」を頭文字にしたスローガンを決め、そのスローガンに合う内容の学級目標を設定した。

『**す：**すすんであいさつ　　**ま：**まいにちえがお
い：いいところをみつけて　　**る：**ルンルンたのしいおにししょう』

児童会や代表委員会でスローガンを決めてから活動に取り組んだことで、自分たちでスローガンを守り、積極的に人権集中学習に取り組もうとする様子が見られた。決まったスローガンは、児童会役員がお昼の放送で発表し、さらに人権集中学習期間開始時の朝礼でも紹介すると共に、全校児童で唱和することで、繰り返しスローガンを印象づけてから人権集中学習に取り組むことができた。

（２）縦割り班活動

①なかよしタイム

本校の縦割り班は、１～６年生の全ての学年が入った１１人で編成され、全部で８班ある。その縦割り班で、月に２回程度、朝の業前活動の時間に学年の枠を越えて楽しく交流する「なかよしタイム」が設けられている。各班に担当の教師もいるが基本的に６年生が中心となって準備や運営を行っている。はじめのうちは、班をまとめられなかったり指示ができなかったりもしていたが、回を重ねるごとにうまくまとめられるようになってきた。６年生が、みんなで一緒に楽しめることを考えながら計画・実施をしているので、全校児童が笑顔で楽しく活動できる時間となっている。高学年がリーダーシップをとって活躍する機会になるとともに、全児童にとって、相手のことを考えお互いを思いやる気持ちを育てることができる重要な時間となっている。

人権集中学習期間中の縦割り班活動として、「全校給食＆全校レク」を体育館と校庭を使用し行った。高学年の児童が低学年の児童とコミュニケーションをとりながら、みんなで楽しく給食を食べることができた。全校が一つの場所で給食を食べる光景はなかなかいいものであり、みんなが、みんなのことを気遣いながら楽しい時間を過ごすことができた。

【全校給食、みんなで食べると、とっても美味しい！】

【全校レクでドッヂビー！】

全校レクは、ドッヂビーを行った。８班ある縦割り班が二つの班で合同チームとなり、総当たりで対戦した。高学年の子たちが、下学年の子たちを守ったり、気遣ったりしながら、みんなで元気に楽しい時間を共有した。

②縦割り清掃

１０月からは、清掃を縦割り班で行っている。１か月ごとに班の分担場所が変わるが、その中の細かい分担は６年生の班長が中心となって考える。班長は学年や男女のバランスを考えながら、責任をもって活動を行っている。低学年の児童が困っていたら上の学年の児童が優しく教えたり手を差し伸べたりということが自然に起こり、互いに教え合い、助け合い、高め合うという学び合いの場になっている。

【みんなで協力、縦割り清掃】

（３）あいさつ運動（小・中・地域が連携して）

毎朝、正門で地域の方２名と学校長があいさつ運動を行っている。さらに、毎月１～２回、拡大あいさつ運動（小中Ｐ民あいさつ運動）を行っている。拡大あいさつ運動では、小学校のときに一緒に遊んでいたお兄さんお姉さんが率先してあいさつする姿が、小学生にとってよい刺激となっている。また、ＰＴＡ本部の方や地域の民生委員さんも一緒に参加があり、３０名以上で朝から元気いっぱいのあいさつ運動になっている。あいさつの素晴らしさ、あいさつの気持ちよさ、あいさつの大切さを感じることができるたいへん意義のある活動である。

【小中Ｐ民あいさつ運動】

（４）全校朝マラソン

【毎日の「全校朝マラソン」】

本校は、一年を通して「全校朝マラソン」（8:15~8:25）を行っている。毎日、成長している全児童の心と体。基礎基本となっているのが、この毎朝の全校マラソンである。今年度も、雨の日以外は毎日継続して走ってきた。走って、走って、心と体をつくる。本校における全教育活動の土台をつくっている活動である。

５　取組のまとめ

（１）取組の成果

“「す」「ま」「い」「る」で みんなにこにこ いじめ０”のスローガンの元、今年度も全児童８８名と全職員で毎日頑張ってきた。

人権集中学習期間に取り組んだ「HAPPY はぁとふるツリー運動」の取り組みにより、友だちのよいところを進んで認め、ほめることを全ての児童が経験できた。人権集中学習において、学級ごとに決めたクラス目標は、「いじめを絶対に許さない」ことを一人一人の児童に意識させる上で有効であった。また、その実践であるクラスレクは、その後も行われるようになり、今も継続している。全員で遊ぶ機会をつくることは、みんなで仲良く明るい人間関係を築くことに役立っている。

人権集中学習期間での取り組みに限らず、「あいさつ運動」や「なかよしタイム」「全校給食」「全校レク」「縦割り清掃」等で、毎日の学校生活の中で日常的に友だち同士や異学年同士で触れ合うことにより、児童の間に良い関係が築けてきている。縦割り班活動を行うことで、子どもたちが主体となって活動できる場面を多くもつことができ、その中で、自分と異なる立場に立って考え、行動する経験ができた。

（２）今後の課題

小規模校であるため、クラス替えがなく同じメンバーで過ごすことが多いので人間関係の固定化がみられる。縦割り班活動をより活性化させることで、幅広い人間関係づくりをしていくことが今後の課題である。

人権集中学習期間中は「いじめを絶対に許さない」という人権意識を高くもっているので、期間中だけでなく『日常の毎日が人権 Day である！』という日常意識が持続できるように、児童会や委員会、縦割り班活動等を活用して、今後も、さらにいじめ未然防止への意識向上を図っていきたい。

いじめ問題解決に向けた年間の取組

藤岡市立鬼石小学校

月	学校の取組	一貫校の取組
4月	・児童会を中心としたスマイルハイタッチあいさつ運動① ・生活アンケート(いじめ・悩みごと実態調査)1	・児童会が中心となり、小・中・地域で連携してスマイルハイタッチあいさつ運動 ・年度始総会にてネットいじめ防止行動目標アクション3＋を活用しての家庭への啓発 ・生活アンケートをもとにしたSOSの認知
5月	・児童会を中心としたスマイルハイタッチあいさつ運動② ・生活アンケート(いじめ・悩みごと実態調査)2 ・いじめに関する道徳の実施 ・縦割り班での「なかよしタイム」活動の実施(1)	・児童会が中心となり、小・中・地域で連携してスマイルハイタッチあいさつ運動 ・生活アンケートをもとにしたSOSの認知
6月	・児童会を中心としたスマイルハイタッチあいさつ運動③ ・生活アンケート(いじめ・悩みごと実態調査)3 ・第1期人権月間にて、「ネットいじめ防止行動目標アクション3＋」の視点での生活の振り返り ・第一回C＆S調査の実施 ・縦割り班での「なかよしタイム」活動の実施(2)	・児童会が中心となり、小・中・地域で連携してスマイルハイタッチあいさつ運動 ・いじめ問題解決に向けた教育懇談会 ・生活アンケートをもとにしたSOSの認知
7月	・児童会を中心としたスマイルハイタッチあいさつ運動④ ・生活アンケート(いじめ・悩みごと実態調査)4 ・縦割り班での「なかよしタイム」活動の実施(3) ・長期休業前の話の中で、「ネットいじめ防止行動目標アクション3＋」を活用 ・三者面談の実施	・児童会が中心となり、小・中・地域で連携してスマイルハイタッチあいさつ運動 ・懇談会まとめリーフレットによる家庭・地域への啓発 ・生活アンケートをもとにしたSOSの認知 ・長期休業に向けて生活の決まりの指導の徹底
8月	・始業式にてSOSの出し方についての話	
9月	・児童会を中心としたスマイルハイタッチあいさつ運動⑤ ・生活アンケート(いじめ・悩みごと実態調査)5 ・藤岡多野いじめ防止フォーラムへの参加(藤岡北高校)	・児童会が中心となり、小・中・地域で連携してスマイルハイタッチあいさつ運動 ・生活アンケートをもとにしたSOSの認知
10月	・児童会を中心としたスマイルハイタッチあいさつ運動⑥ ・生活アンケート(いじめ・悩みごと実態調査)6 ・縦割り班での「なかよしタイム」活動の実施(4)	・児童会が中心となり、小・中・地域で連携してスマイルハイタッチあいさつ運動 ・生活アンケートをもとにしたSOSの認知
11月	・児童会を中心としたスマイルハイタッチあいさつ運動⑦ ・生活アンケート(いじめ・悩みごと実態調査)7 ・第二回C＆S調査の実施 ・縦割り班での「なかよしタイム」活動の実施(5)	・児童会が中心となり、小・中・地域で連携してスマイルハイタッチあいさつ運動 ・生活アンケートをもとにしたSOSの認知
12月	・児童会を中心としたスマイルハイタッチあいさつ運動⑧ ・生活アンケート(いじめ・悩みごと実態調査)8 ・第2期人権月間にて、「ネットいじめ防止行動目標アクション3＋」の視点での生活振り返り ・HAPPYはぁとふるツリー運動(人権月間) ・情報モラル講習会の実施(4年～6年、保護者) ・縦割り班での「なかよしタイム」活動の実施(6)	・児童会が中心となり、小・中・地域で連携してスマイルハイタッチあいさつ運動 ・生活アンケートをもとにしたSOSの認知 ・長期休業に向けて生活の決まりの指導の徹底
1月	・児童会を中心としたスマイルハイタッチあいさつ運動⑨ ・生活アンケート(いじめ・悩みごと実態調査)9 ・縦割り班での「なかよしタイム」活動の実施(7)	・児童会が中心となり、小・中・地域で連携してスマイルハイタッチあいさつ運動 ・生活アンケートをもとにしたSOSの認知
2月	・児童会を中心としたスマイルハイタッチあいさつ運動⑩ ・生活アンケート(いじめ・悩みごと実態調査)10 ・各学年にて子ども会議の内容伝達 ・縦割り班での「なかよしタイム」活動の実施(8)	・児童会が中心となり、小・中・地域で連携してスマイルハイタッチあいさつ運動 ・生活アンケートをもとにしたSOSの認知
3月	・児童会を中心としたスマイルハイタッチあいさつ運動⑪ ・生活アンケート(いじめ・悩みごと実態調査)11	・児童会が中心となり、小・中・地域で連携してスマイルハイタッチあいさつ運動 ・生活アンケートをもとにしたSOSの認知 ・長期休業に向けて生活の決まりの指導の徹底